

事業所名

リニエブラッツくずは

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

21 日

法人（事業所）理念		【法人】 生を受けてから最期を迎えるまで、だれもが住み慣れた地域で、その人らしい生を全うできる世の中をつくる。 私たちの使命は、その人が持つ生きる力を引き出しその人の持つ意志の実現を支えていくことです 【事業所】 私たちは、児童発達支援および放課後等デイサービスを通じて、言葉の発達に課題を抱えるお子さまやそのご家族を支え、お子さまが笑顔で夢を語り、その夢に向かって一歩踏み出せるような未来づくりを共に目指します。					
支援方針		リニエブラッツくずはでは、児童発達支援（未就学児）および放課後等デイサービス（小学生～18歳まで）を通じて、言葉の発達に課題を抱えるお子様やそのご家族へ「言語の発達で悩んだら、ここに相談しよう。」と提供いただける信頼の拠点を指し、「ことばの療育」に特化した専門サービスとして提供します。 私達のチームは、言語聴覚士、作業療法士、保育士など、それぞれの分野で豊富な経験を持つ専門家が揃っております。お子さま一人ひとりの特性や成長に寄り添い、「安心」と「希望」に繋がっていく【個別療育を中心とした】支援を行います。また、必要に応じて小グループ療育や保育所等訪問支援も組み合わせることで、包括的なサポートをして参ります。					
営業時間		10 時	0 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	来所されてから帰る時間まで写真・カードを活用し、検温・手洗いや出席ノートの準備・トイレなど身辺自立に向けた支援を行います。 ①心身の健康状態の把握（来所時の体温測定、サービス提供記録等） ②生活リズムの安定（定時に行なう活動、規則正しい生活の維持等） ③構造化を意識した環境設定（絵カードなどを使った具体的な表示等）					
	運動・感覚	お子様が持つ特性を把握し、可能なことから少しずつ挑戦していきながら、日常生活に困難をきたさないような対策を考え支援を行います。感覚の過敏・鈍麻に対する特性を踏まえ、楽しみながら体を動かしたり、指先を使った遊びも取り入れた活動を実施しております。					
	認知・行動	お子様の理解できる範囲や理解の方法を把握し、生活の中で支援を本人の困難さや生きづらさが軽減されるようにトレーニング。又は助言を行います。 ①日付の把握認知の形成（カレンダーでの確認等） ②時間に関する認知の形成（タイマーの活用、プランニングボードの確認等） ③物質の感覚に関する認知の形成（粘土、セラパテ等） ④空間把握に関する認知の形成（ブロック遊び、プリント課題等）					
	言語コミュニケーション	言語発達遅延・構音障がい・吃音症状などコミュニケーションに関係するお困り事に対し、言語聴覚士によるアセスメント（コミュニケーション能力・理解力・表出力を分けて評価）を軸に、必要なプログラムを考案します。また、作業療法士・保育士・児童指導員等の他職種と連携し【個別療育】を通じてそれぞれの専門性を生かしたトレーニングを実施します。 教材や絵本・絵カードなどのツールを活用し、発達年齢や特性に合わせたアプローチを行います。					
	人間関係社会性	小集団療育にて、就学前はミニ学校体験やごっこ遊び・ゲームなどを通して、相手の気持ちや人との距離を考えたり、ルールに沿った活動をするなどのソーシャルスキルトレーニングを実施しております。					
家族支援		家庭でのお困り事に対するサポート・助言 （言語発達面での心配事も含む）			移行支援		園や学校、他事業所など関係機関との情報共有や連携調整 進路や就学先についての相談援助や準備支援
地域支援・地域連携		他の通所支援事業所との交流と情報交換			職員の質の向上		事例検討会・事業所内勉強会（個別支援計画の立て方など） 制度研修 社内研修等
主な行事等		年に2回の避難訓練 季節柄にあった制作活動					